

水路關係

至急

水路部長

5290

三二一號

大塚啓用

海

軍

軍務局長 昭和二年十月廿一日 第二課長 局員 軍務局長 第一管船局長宛 發布		危險物沈置ノ件 軍用ノ爲左記ノ通り危險物ヲ沈置致度 右協議ス 記	區 第三海堡燈台南五度西一五〇 米ヲ起点トシ南五度西一長サ 五〇米幅一〇〇米 自十月十二日 至十月三十日	記 區域兩端ニ赤色球狀浮標ヲ 設置シ夜間ハ之ニ白燈ヲ 點ス	事 別圖添付
--	--	---	---	--	-----------

終

水路部 2.10.8 受接

換造半葉十三行野紙

軍務局長

水路部長

9490

軍務第三一三號

昭和二年十月十二日 軍務局長

第一課 運送部 船務課 船務長宛

東京 神奈川 千葉 茨城 水戸 山梨 長野 岐阜 富山 石川 福井 滋賀 京都 大阪 和歌山 徳島 香川 高松 岡山 広島 山口 愛媛 高知 福岡 佐賀 長門 熊本 鹿兒島 鹿児島

航行船舶 注意方 備 件

左記ノ件航行船舶ニ對シ注意ナル様可然御
取計ヲ得度

右照會ス

記

一、自十月十四日 東京湾口方面航路線附近ニ於テ掃

海標識ヲ掲揚シテ運航スル海軍艦船ハ危

険物ヲ曳航スルモノナリ

二、昭和二年十月十二日十三日ノ兩日間備後灘安

藝灘及伊豫灘東部ニ於テ多数ノ駆逐艦潜

海軍

模造半葉十三行算紙

件

2290

水艦演習ノ夕メ夜間無燈ニテ行動ス

終

漢語字彙十三行算紙

海軍

件

軍務局長

8290

軍務第三〇九號

昭和二年十月八日 軍務局

鹿兒島縣廳 御中

危險物沈置ノ件

昭和二年十月十二日ヨリ廿八日迄奄美大島大島海
峽東口方面ニ危險物ヲ沈置セル付航行船舶
ノ注意ヲ要スル危險物附近ニ監視艇ヲ配シ水
路嚮導ヲナスニ付航行船舶ノ注意方ニ於テ取計相成
右通知依款ス

寫送付先 鹿兒島縣大島支廳

終

漢造半葉十三行算紙

海軍

件

西園飛流
濟

6290

海令壹機第 二〇號

昭和三年十月五日

軍務局第二課長 殿

軍令部第一課長

水路告示二箇云々件

（別紙）
昭和三年特別大體習問係、水路告示及地方航（通知方別紙）依り

可如仰取計ヲ得ル

如照合々々

（別紙係）

海軍

模造半葉十三行罫紙

0890

別紙第一

東京湾方面

海軍

模造中葉十三行部紙

1890

~~海標識
若三ツウ
表セシ
瓦ヤ
コト~~

一、東京湾口ニ左記ノ通ル危険物ヲ設置ス (附高参考)

区	域	期間	記
第三海堡燈台ノ南五七度西五〇〇	自十月十二日	区域ノ周端ニ赤色浮標ヲ設置	球形
米ヲ起兵トシ南五七度西一長サ	至十月三十日	ニ夜間ハ之ヲ自燈ヲ具	浮標
五〇〇米幅一〇〇米			

二、自左記期間東京湾口航路線附近ニ於テ掃海標識ヲ掲揚スニ運航スル
海軍艦船ハ危険物ヲ曳航スルモノトシテ附近ニ通航ノ船舶ハ注意ヲ要ス

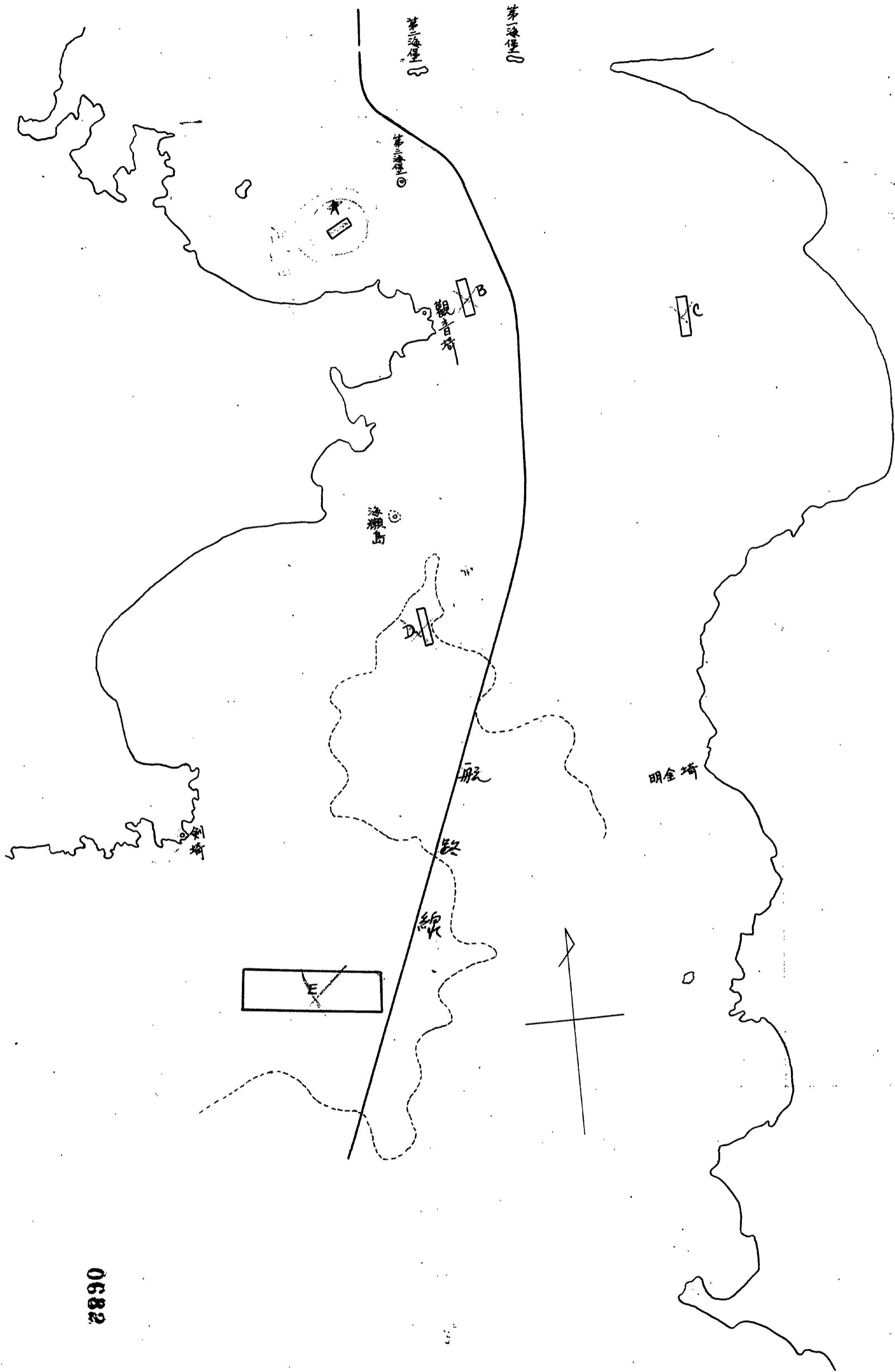
期間
自十月十日日
至十月二十六日

模造中葉十三頁紙

海軍

浦賀水道危険物沈置圖

(海軍海回第九十號令尺度)



0682

別紙芽

瀬戸内海方面

昭和二年十月十日十一日、西日湖備後灘、安藝灘、及

伊豫灘東部に於て多数の駆逐艦、潜水艦、海軍、

夜間着燈、多行部、の、付航、行、船、の、注、意、を、要、す。

横濱中乗十三行部紙

海軍

告不之也

地方

0684

別紙

大倉大島方面

昭和二年十月十二日、十月十八日、大倉大島大島海峡
東口方面、危険物ヲ沈置スル付、航行ノ船舶、注意

ヲ要ス、危険物貯込ニ監視被テ航シ、此路嚮洋ヲ要ス。

鹿島縣麻生中

大倉大島郡 島司海

軍

模造半葉十三行單紙

5890

Q101	子	20	木

軍務局

聯合艦隊機密第一八號ノ二

昭和二年七月三日 日佐伯海長門

聯合艦隊參謀長

海軍省軍務局長殿

第二課

機雷敷設ニ關スル件

當隊戦闘敷設、為左記ノ通教練用機雷ヲ敷設可敷候

右箇知ス

記

敷設ノ目的	敷設ノ位置	記
自音 是月有 常態勝利ノ點開敷設	機雷敷設 四百個 機雷敷設ノ位置	敷設ノ位置 近三ノ船艇ヲ 監視警戒ス

西止ノ大



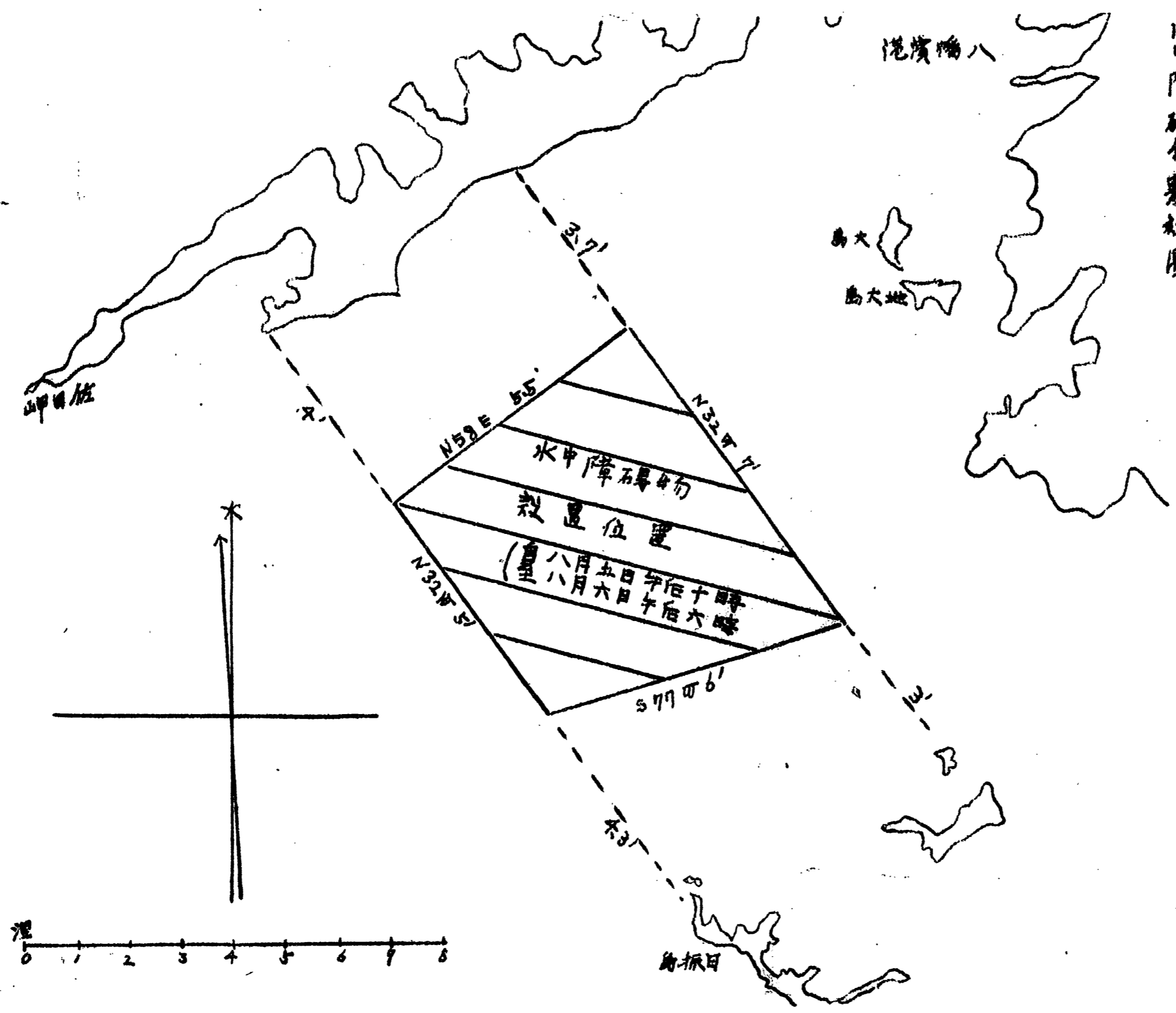
昭和二、一、今并納

終

海軍

軍務局
第二課
27.1
受接

海軍海圖第三號上同尺度
 豐後水道
 水中障礙物敷設圖



0686